

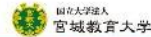


# 国立大学法人 宮城教育大学

本学は、東日本大震災の被災地内唯一の教育大学であることから、震災直後の平成23年6月に「教育復興支援センター」を設置し、被災地の教育復興に努力してまいりました。

平成23年3月11日の東日本大震災は、東北の太平洋側に甚大な被害を与えました。現在もなお心の傷に苦しんでおられる方も多く、教育の現場では、さまざまな問題が顕在化しています。

同センターは、平成28年度から新たに「防災教育未来づくり総合研究センター（仮称）」へと生まれ変わります。今後もなお一層、地域の教育復興に尽力いたします。



## 宮城教育大学教育復興支援センターの概要



### 宮城教育大学 教育復興支援センター

#### 研究開発部門

- 被災地における現在進行形の教育復興支援ニーズの把握
- 支援の最適化、支援実践
- 東日本大震災からの教訓と知見の蓄積
- 国内外の他機関との連携  
～グローバルな知見共有～被災地間協働
- 防災教育プログラムの再検討・教材作成
- 震災を踏まえた新たなコミュニティ防災の「場」創出の実証・実践

#### 支援実践部門

#### 地域への貢献

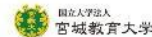
- 被災地への学習支援事業
- 子どもをとりまく地域再生支援事業

#### 新たな教育の創造

- 防災教育・復興教育の創造
- キャリア教育の開発と充実
- 時代の要請に応える教育

#### 復興グローバル人材の育成

- 東南アジア地域との連携
- 海外関係機関との協力関係



## 子どもたちの笑顔のために ～支援事業と学生の自主的活動～

### 支援プログラム

- 教育復興支援事業**  
Programs in 2013: Miyagi Education University
- 教員補助事業**  
Programs in 2013: Miyagi Education University
- 教員研修事業**  
Programs in 2013: Miyagi Education University
- 子ども対象・参加イベント事業**  
Programs in 2013: Miyagi Education University
- 心のケア支援事業**  
Programs in 2013: Miyagi Education University
- にこころざし・キャリア教育事業**  
Programs in 2013: Miyagi Education University

### 学生の自主的活動



## 全国の大学からのボランティア学生派遣

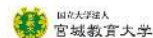
全国の大学から、多くのボランティア学生を、被災地の学校支援に派遣いただきました。改めて、感謝申し上げます。

- |          |         |
|----------|---------|
| ●北海道教育大学 | ●愛知教育大学 |
| ●東北大学    | ●滋賀大学   |
| ●東北学院大学  | ●京都教育大学 |
| ●仙台大学    | ●大阪教育大学 |
| ●東北福祉大学  | ●奈良教育大学 |
| ●群馬大学    | ●鳴門教育大学 |
| ●東京学芸大学  | ●福岡教育大学 |
| ●早稲田大学   | ●鹿児島大学  |
| ●上越教育大学  |         |

地震発生直後から、学生達は近くの被災地へ駆けつけ、避難所や学校でボランティア活動に取り組んできました。しかし、発生時の混乱が収まるとともに被害の広範さが明らかになり、宮城県内の教育復興への対応は一教育系大学としては成り立たないという現実と直面しました。

そんな折、全国の大学から学生ボランティアとして温かい支援の手が差し伸べられ、児童生徒の学習支援、授業や放課後活動などの教員補助活動を続ける事ができました。宮城県の教育復興の大きな礎となったものと感じています。

長期休業中、仮設住宅から登校した児童生徒は、遠方から来てくれた学生が汗を流しながら学習指導に勤む姿に励まされ、次のステージに向かう勇気を抱きました。一方、全国の学生たちが児童生徒に寄り添うボランティア活動に取り組んだことは人間的な成長につながることも、本学にとっても今後の教員養成を考える大きな契機となりました。



## 学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業(1)

宮城教育大学では、教員養成という本来の人材育成に加え、地域社会を豊かにするために活動する市民の育成、リーダーの育成に取り組み、被災地にある唯一の教育大学として新たな境地を開きました。

### 防災教育に関する取組

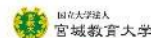
- 【防災継続講座】**  
広く市民に「防災に関する学びの場」を提供するために継続講座を開催した。
- 【震災体験の次代継承事業】**  
小・中学校の被災児童や教育関係者への学びの機会を確保するため、被災体験の継承事業を実施した。
- 【地域のネットワークを生かす防災教育の取組】**  
被災地の現状を伝えるために、子どもと大人が一緒に学び、地域のネットワークを生かした防災教育を実施した。

### 心とからだに関する事業

- 【女川町子ども支援活動】**  
被災地女川町の被災児童から失われた子どもたちの活動拠点を復活させる活動を実践した。
- 【食の学びによる地域づくり】**  
宮城の食文化資源を活用して、地域での「食の学び」の機会や実践の場を多様な「地域づくり」に発展させた。

### 生き方に関する事業

- 【震災の記憶をつなぐ伝承事業】**  
高校生キャリア教育講座
- 【p4c(子ども哲学)による生き方を考える取組】**  
震災の対話 (p4c: philosophy for children)
- 【キャリア教育に関する研究プロジェクト】**  
復興教育は、単に震災前の姿を取り戻すことではなく、新しい時代を切り拓くために、必要な資力や能力を養うことが大切である。そのために、生き方教育としてのキャリア教育を推進した。



## 学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業(2)

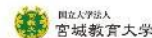
### 3年間の主な取組の概要

#### 【教員支援情報誌「ちょっとたいむ」第1～8号の発行】

被災地の現状を伝えるために、子どもと大人が一緒に学び、地域のネットワークを生かした防災教育を実施した。

#### 【学生の自主的な活動】

被災地でボランティア活動に取り組む学生たちが、一般学生を募って被災地訪問などを自ら企画した活動。被災地の現状理解を深め、海外(フィリピン等)への災害支援を行った。



## 宮城教育大学から世界へ

### 国内におけるネットワーク展開

東日本大震災において、学校は、緊急避難所または生活避難所として大きな役割を果たしました。学校の教職員は、震災直後には子どもたちの生命を守るべく尽力し、その後の5年間、子どもたちをケアし成長を支えています。宮城教育大学は、多くの教育系大学の協力を得て、こうした学校の教職員と子どもたちを支援する教育復興活動に取り組んできました。

2015年3月に仙台にて開催された国連防災世界会議を機会に、学校支援ボランティアを中心とした教育系大学間のネットワークを、さらに確かなものへと再構築し、このネットワークを介し防災・災害復興に焦点化した情報共有を図っています。

そして、このネットワークを、ESD/RCEを通じた防災教育ともリンクさせることで、実効性のさらなる高まりを目指していきます。

### 海外へのネットワーク展開

宮城教育大学は、これまでESDの推進を通じて、海外とのネットワークを形成してきました。その一つが、国連大学が認定するESDの推進拠点RCE(Regional Centre of Expertise)で、2015年2月現在、世界に135の拠点(地図上●)があります。RCE仙台広域圏はRCE制度発足時に認定された7拠点のうちのひとつとして、宮城教育大学にその事務局が置かれています。その他、アジア太平洋を中心として、震災後に設置された教育復興支援センターの活動や、教員の共同研究先を通じて、海外の災害多発地域等(地図●)とのパートナーシップを展開しています。



## 防災教育未来づくり総合研究センター(仮称)の設置

東日本大震災後の教育支援の経験知をフルに生かし、防災に関わる教育とそれらを基盤に、地域創成を推進する未来志向型の人材養成拠点

### CONTENTS 防災推進と地域創成のための人材養成

防災・安全教育	地域復興・地域創成
<ul style="list-style-type: none"> <li>防災教育・安全教育の体系化と教員養成</li> <li>学 部: 防災教育の概論と教材研究、ボランティア活動</li> <li>大学院: 防災・安全管理システムと応用、附属学校園を活用した実践研修、キャリア育成オフィス活用研究</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>復興・創成に貢献する人材育成</li> <li>研究機構(宮城教育大学附属研究センター)における開発研究</li> <li>地域創成教育システム(人づくり開発)研究 <ul style="list-style-type: none"> <li>○国語理解 調査分析に基づくグローバル研究</li> <li>○東北広域教育相継ネットワーク共同研究</li> <li>○ESDコンソーシアム(産学官連携)組織研究</li> </ul> </li> <li>防災と地域創成に関する実践適応と評価分析 <ul style="list-style-type: none"> <li>○復興・活色化のための地域ニーズの分析対応</li> <li>○アクティブラーニングによる自律研究とポートフォリオ分析による創成展開</li> </ul> </li> </ul>
<b>附属学校園を活用した実践研修</b> 一教員養成における防災力の育成一	<b>復興力・地域創成基盤力形成</b>

### OUTPUT 東北における防災教育指導者養成の中心拠点

学生教育	教員研修	防災リーダー育成
<ul style="list-style-type: none"> <li>学生ボランティア、学生体験研修(アクティブラーニング・サービスタウン)支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>東北の現場教育に対する研修支援の蓄積(サテライト、Web会議システムを用いた防災・安全教育研修)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災担当者・市民リーダー研修(地域行政との協働)研修プログラム開発と支援</li> </ul>